

# 今年、卒業を迎えた君たちへ

## どんな未来にでも、美しく生きていける人へ



跡見学園女子大学 学長 笠原 清志

この度晴れて卒業、修了を迎え、新しい人生へと旅立つ学生の皆さん。卒業おめでとうございます。

新型コロナウイルスの影響により、誠に残念ながら卒業式修了式を中止する決断をしました。皆さんの気持ちを考えると大変申し訳なく思うと共に、今、日本と世界で何が起きているのだろうか、「自分は何からどう生きていくべきなのか」といったことを考えるきっかけになればと願います。

跡見学園は「自律し自立した女性」の育成を目指して女子教育をスタートさせました。真の教育とは、「自分を見つめるも、人の自分を持つ」ということ。不確実性の時代にある私たちは、今まで以上に真の教養と自らの力によって個人を確立し、自律し自立することが求められています。卒業修了

式という通過儀礼は無くなくなりましたが、皆さん自身で心の通過儀礼を果たし、どんな未来でも美しく生きていこうと思っています。

卒業した後、生活や仕事に迷った時、新座キャンパスの文京キャンパスを訪ねてみてください。偶然、ゼミの先生に出会うかもしれません。また、キャンパスを散歩するだけでも、元気をもらうことができます。もしも、跡見学園女子大学での学生生活は卒業しても永遠に皆さんの心の中心であり、心の支えとなってくれるものと確信しています。皆さんの未来に大いなる幸あれと、心よりお祈りしております。



## 耐えて、目指す世界へ挑め!



江戸川学園取手高等学校 校長 竹澤 賢司

この春、えどとりを卒業した皆さん、改めて卒業おめでとう。今年度は規模を縮小して卒業式を行わずに卒業おめでとうの言葉を添えたい。しかし、少しでも君たちを元気づけようとして、先生たちでつづらな年間の歩みやビデオメッセージを上映した時の弾けるような笑顔に、我々も元気づけられました。

また、全国の高校卒業生の皆さん、仲間や後輩たちや先生方との最後のお別れの言葉も十分言えず、辛く悲しく寂しい卒業であつた人々もいたことでしょうか。

たゞ卒業式が出来なくても、学び舎で培った日々は不滅です。母校は卒業生にとって、永遠に心の故郷です。切磋琢磨し合った汗と涙の黄金の日々、どの学校の先生たちも決して忘れることはありません。世界がこのように非常事態にあつても、自暴自棄にならず理性を保ち、やるべき事をきちんと行い、教養を積み、自立した魅力ある大人になって下さい。今こそ、夢に向かって忍耐する力を育むチャンスです。限りない可能性を秘めた皆さんの前途には、限りない可能性の未来が待っているのです。時至れば、悠々と己の目指す世界へと羽ばたいて下さい。全国の卒業生の皆さんの活躍を、心よりお祈り申し上げます。



## 適切な判断と果敢な決断を目指し、学び挑戦せよ



開成高等学校 校長 柳沢 幸雄

卒業おめでとう。諸君が開成の由來する開成の精神を理解し、開成学園の卒業生として立派に立派なことを願う。

諸君は自らの卒業式を通じて、例年の卒業生には無い学びを体験することになった。新型コロナウイルスへの感染予防のため、開成でも国でも様々な組織で意思決定がなされているということである。意思決定は判断及び決断によってなされる。判断とは多くの選択肢から論理的比較検討をし、一つの解に到達していくもので、決断とは情報やデータが不足している場合でも、アクションを取らなければならぬ、緊急を要する状況下で行われるものである。

時にリーダーは未来に向かって決断を迫られる。それが妥当か否かは、歴史の審判に委ねられるだろう。リーダーとは、未来に結果を祈る。

責任を負う役割なのである。我々の未来は常に不確実で、数多の選択肢から決断をしていかなければならず、我々もまた自らの人生において決断を重ねるリーダーである。諸君はこれから多くの人生の岐路に立つが、多くの知識を集積し適切な判断ができるよう学び続け、そして果敢な決断ができるよう、挑戦し続けて欲しい。

最後に私の小学校の恩師が教えてくれた、私の座右の銘を贈ります。

学問とは、それ自身が尊いものではない。  
世の人のために尽くしてこそ価値があるのだ。  
諸君の前途に幸多からん事を祈る。



## 「皆さんの見える手」で、希望に満ちた社会変革を



公立諏訪東京理科大学 学長 小越 澄雄

卒業生の皆さん、卒業式おめでとう。今年度は規模を大幅に縮小して学位記授与式を行うこととなりました。大変残念なことと思いますが、式に参加できなかった方たちの心の声を、皆さんの心で感じていただければと思います。

現代社会は「第四次産業革命」を迎えています。18世紀、イギリスの哲学者、経済学者のアダム・スミスは「市場経済は放っておけば「神の見えざる手」によって自然とバランスする」と主張しました。しかし、この市場経済の大前提に、疑問符が付けられようとしています。

例えば、新産業である世界的IT企業は、2019年3月時点で日本の大手自動車メーカーの約1.7倍の利益を半分の雇用人数で上げています。つまり第四次

産業革命では、放っておいても、新産業がそれまでの産業から発生する失業者を吸収しきれず、格差が拡大する懸念があります。今世界には「神の見えざる手」ではなく「皆さんの見える手」による大きな社会変革が必要なのです。市場やルールを急激に変えてしまふ製品や企業を指す「ゲームチェンジャー」。私はこの言葉を、新しい考え方やイノベーションを行い、社会やルールを変えようとする人を指す言葉としても使いたいと思います。皆さんの中から、入でも多くのゲームチェンジャーが出現し、「皆さんの見える手」で希望に満ちた社会変革を実現することを期待しています。



卒業式は学生生活の健闘をたたえ、新しく社会へ送り出す大切な場でした。しかし今年度は、届かなかった眼差しも、贈れなかった言葉もありました。だから、この場で伝えたい。困難に試され一層たくましく、社会へ飛立つ君たちへ。君たちの活躍を願ってやまない、私たちが、最後のエールを。

## 社会を変革し未来を切り開いていく実践女子へ!



実践女子大学・実践女子大学短期大学部 学長 城島 栄一郎

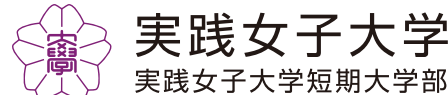
記念すべき令和元年度の卒業修了おめでとう。ごさいます。ご両親ならびに「親族の皆さん、お嬢様の成長と今日のおめでとうの日を迎えられたことを、心からお慶び申し上げます。

今般の新型コロナウイルス感染リスクを最小限にするために、式典を中止し簡素化した卒業式となりましたが、所定の卒業式を修め立派に成長した皆さんを送り出すことを、教職員一同嬉しく思いながら祝福いたします。

人生100年時代、膨大な時間を持つ皆さんの可能性は無限です。長い人生を充実したものに、社会に貢献し、輝いていくためには、将来に対して夢を持ち目標を設定することが重要です。目標に向かって失敗を恐れず挑戦し続けてください。皆さんの活躍を期待しています。

本学には学生一人ひとりの個性を大切にしたい個別支援体制「J-TAS (Jissen Total Advanced Support)」があり、卒業後も教職員が皆さんの成長をサポートします。遠慮なく母校を訪れてください。

「卒業記念パーティー」のお知らせ  
2019年度卒業式典及び各学科謝恩会中止に伴い、「卒業記念パーティー」を2020年9月19日(土)に各キャンパスで行います。詳細が決まり次第、2019年度卒業生の皆さんに改めてご連絡いたします。



## 学び続け、自己と世界を変える心優しいリーダーに



首都大学東京学長 上野 淳

卒業修了を迎えられた全ての皆さんに、心からおめでとうを申し上げます。残念ながら全員が集まらずの卒業式は、修了式は挙げていません。しかし、未来のリーダーとなる皆さんがこの大学から巣立っていくことに何も変わりはありません。深刺と元氣いばい、旅立ってください!

実社会に出て行く皆さんに贈りたいメッセージがあります。一つは「学び続けよう」ということ。日々急速な進化を続けるこの社会では、変化に追随するだけでなく、時代を先取りする覚悟で学び、自己改革できる資質こそが社会をリードする要件です。卒業してからが新たな学びの始まり。共に学び続けましょう!

もう一つは、皆さんに「広い視野を持った心優しいリーダー」として活躍してほしいということです。現実の世界には様々な不条理や混乱が存在しています。例えば我が国の若年層に広がる貧困や、頻発する大規模自然災害、超高齢社会などの課題。世界における貧困、飢餓、内戦、難民などです。このような状況を理解できる広い視野、思いやることのできる心の優しさ、多様な属性、文化的文脈を持つ人々への優しい眼差しを持つ人こそが、この世界を健全で明るい社会へと導いてくれると信じています。つまり、正義感と倫理観に裏付けられた、強しやかな心優しいリーダーとしての、あなたたちの輝かしい将来を信じています。



## 研究心と複眼的思考でVUCA社会を生き抜いて



横浜国立大学 学長 長谷部 勇一

令和元年度、学部卒業生1,669名、大学院修了生841名及び専門職学位課程修了生25名の皆さんが緑豊かな常盤台キャンパスから飛び立つことになりました。皆さん、卒業おめでとう。ごさいます。

新型コロナウイルスの感染が世界的に拡大し、社会の不安定性が顕著になりました。2016年のダボス会議で使われた「VUCA(フーカ)社会」がまさに出現しています。VUCAは「Volatility(変動性)」「Uncertainty(不確実性)」「Complexity(複雑性)」「Ambiguity(曖昧性)」の頭文字からなる言葉で、「あらゆるものを取り巻く環境が複雑性を増し、将来予測が困難な状態」を指します。

では、このような社会を生き抜くために何が必要でしょうか。

一つは、研究心です。不透明な時代では正解の無い問題にチャレンジし、自分の頭で考え、自分の言葉で答えを見いだそうとする「研究する精神」が必要です。二つ目は、複眼的思考です。予測困難な社会においては問題が複雑に絡み合っており、単独の専門性だけでは解くことは困難です。多様な立場や価値観を持つ人々と積極的に関わり、交流することが必要です。

皆さんが、大学で身につけた研究心と複眼的思考をもつて国内外で活躍されることを祈念します。



## 和光での経験を糧に自分らしい生き方を選ぼう



和光学園 和光高等学校 校長 橋本 暁

卒業生の皆さん、卒業おめでとう。卒業生を見守ってきた「家族の皆さん、心よりお祝い申し上げます。残念ながら今年度は新型コロナウイルスの影響で規模を縮小しての卒業式でした。当日は在校生の参列もなく、合唱も省き時間も短縮という形で行わざるを得ませんでした。この場を借りて私から改めて卒業生の皆さんにメッセージをお伝えします。

当日、私は一つの生き方の話をしました。地下鉄サリン事件の実行者のように、自分たちのために他人を犠牲にする人間の生き方。そして中村哲さんのように困難を抱える地を他者のために自分の持っている力を極限まで注ぎ込む人間の生き方です。どちらも、私たちの多くから遠く離れた生き方です。これから先、卒業生の皆さんはどのような生き方を選ぼうかという問いが、皆さんに投げかけられることになると思います。そして、今は分らない、という人もいますが、「皆さんはこの和光高校での3年間でどのような経験を積んできたはずなのだろう」と私は思います。

和光での経験を糧にして、自分らしい人間らしい生き方を選んでいって下さい。

どのような生き方を選ぼうかという問いが、皆さんに投げかけられることになると思います。そして、今は分らない、という人もいますが、「皆さんはこの和光高校での3年間でどのような経験を積んできたはずなのだろう」と私は思います。

